

シークレットマネージャー > あなたの秘密

サービスアカウント

ヘルプセンターで表示:

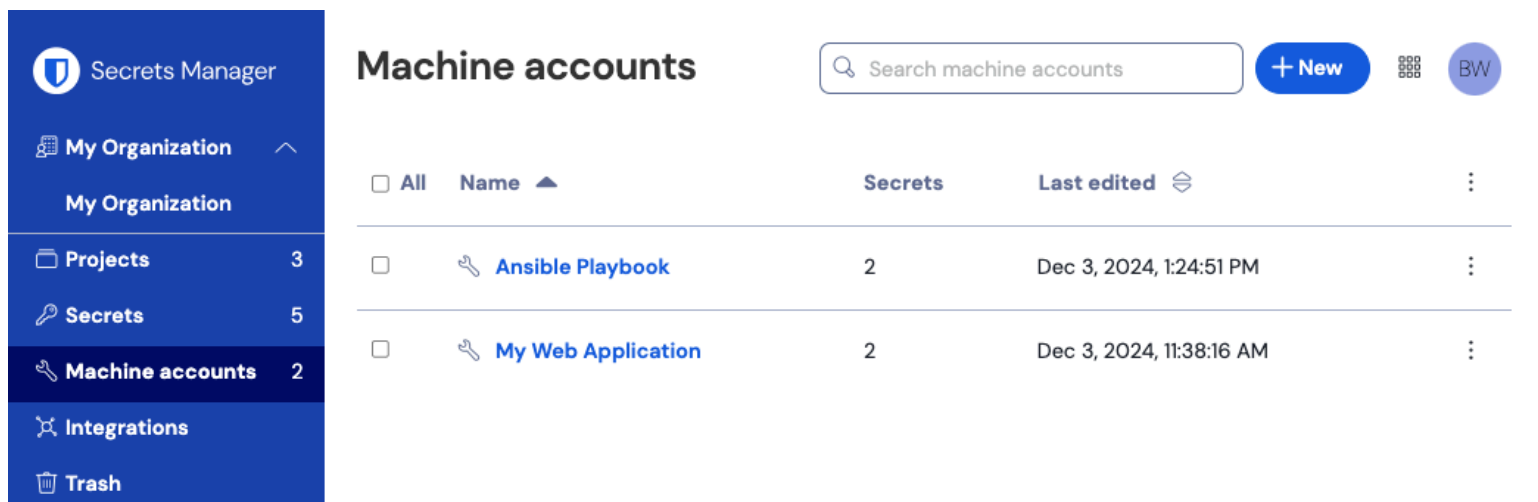
<https://bitwarden.com/help/machine-accounts/>

サービスアカウント

サービスアカウントは、プログラムによるアクセスが必要な一連の秘密を持つ、アプリケーションやデプロイメントパイプラインのような非人間のマシンユーザーを表します。サービスアカウントは以下の目的で使用されます：

- 適切にマシンユーザーがアクセスできる秘密の選択範囲を設定します。
- プログラムによるアクセスと、秘密を復号化、編集、作成する能力を容易にするために、[アクセストークン](#)を発行します。

あなたのユーザーアカウントがアクセスできるシークレットは、プライマリのシークレットマネージャー表示にリストされ、またナビゲーションからサービスアカウントを選択することでも表示されます。

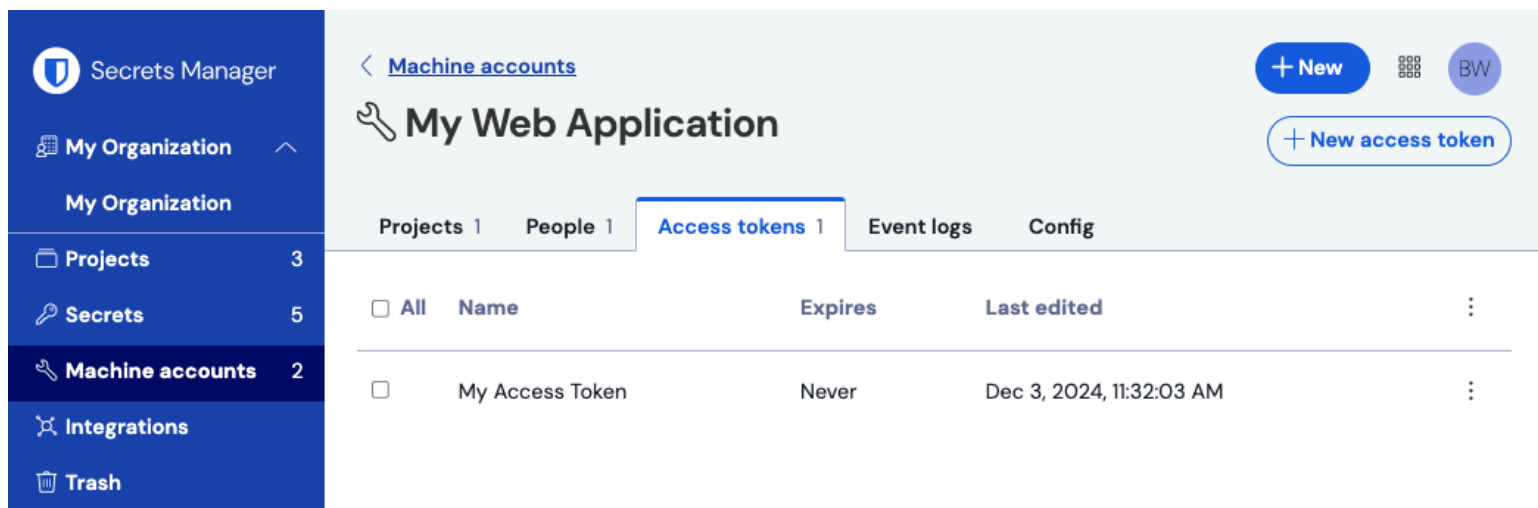


The screenshot shows the Bitwarden interface with a sidebar on the left containing 'Secrets Manager', 'My Organization', 'Projects', 'Secrets', 'Machine accounts', 'Integrations', and 'Trash'. The main content area is titled 'Machine accounts' and includes a search bar, a '+ New' button, and a table of machine accounts. The table has columns for 'All', 'Name', 'Secrets', 'Last edited', and a menu icon. Two machine accounts are listed: 'Ansible Playbook' and 'My Web Application', each with 2 secrets and a last edited timestamp.

All	Name	Secrets	Last edited	
☐	Ansible Playbook	2	Dec 3, 2024, 1:24:51 PM	⋮
☐	My Web Application	2	Dec 3, 2024, 11:38:16 AM	⋮

サービスアカウント

サービスアカウントを開くと、サービスアカウントがアクセスできるシークレットと人々がリストされ、生成されたアクセストークンも表示されます。



The screenshot shows the details page for the 'My Web Application' machine account. The sidebar is the same as the previous screenshot. The main content area has a breadcrumb 'Machine accounts' and a title 'My Web Application'. There are buttons for '+ New' and '+ New access token'. Below the title are tabs for 'Projects 1', 'People 1', 'Access tokens 1', 'Event logs', and 'Config'. The 'Access tokens 1' tab is active, showing a table with columns for 'All', 'Name', 'Expires', 'Last edited', and a menu icon. One access token is listed: 'My Access Token', which expires 'Never' and was last edited on 'Dec 3, 2024, 11:32:03 AM'.

All	Name	Expires	Last edited	
☐	My Access Token	Never	Dec 3, 2024, 11:32:03 AM	⋮

サービスアカウント内

サービスアカウントを作成

あなたの組織のサブスクリプションページでは、組織で使用可能なサービスアカウントの数値を割り当てることができます。ご利用可能なサービスアカウントやサービスアカウントのスケーリングに関する追加情報については、[こちら](#)をご覧ください。

新しいサービスアカウントを作成するには：

1. **新規** ドロップダウンを使用して、**サービスアカウント**を選択します：



2. **サービスアカウント名**を入力し、**保存**を選択してください。

3. サービスアカウントを開き、**プロジェクト**タブで、このサービスアカウントがアクセスできるべきプロジェクトの名前をタイプまたは選択します。追加された各プロジェクトに対して、**権限**のレベルを選択してください。

- **読み取り可能:** サービス アカウントは、割り当てられたプロジェクトからシークレットを取得できます。
- **読み取り、書き込み可能:** サービス アカウントは、割り当てられたプロジェクトからシークレットを取得および編集したり、割り当てられたプロジェクトに新しいシークレットを作成したり、新しいプロジェクトをまとめて作成したりできます。

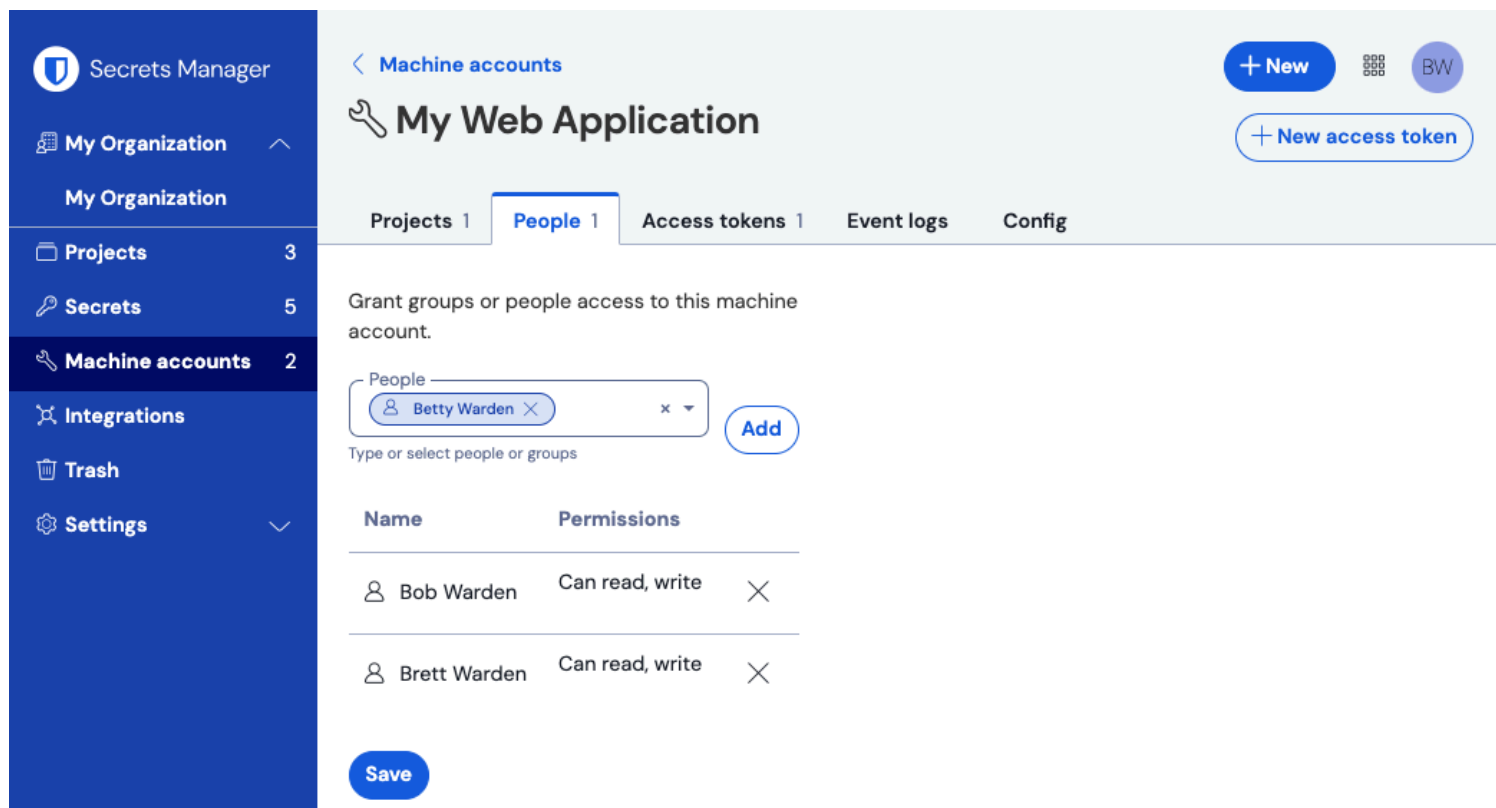
💡 Tip

サービスアカウントの書き込みアクセスを完全に活用することは、今後のCLIリリースに依存しています。現時点では、これは単にUIで利用可能なオプションを提供します。詳細については、[リリースメモ](#)をご覧ください。

サービスアカウントに人々を追加します

サービスアカウントに組織のメンバーを追加すると、その人々はサービスアカウントのアクセストークンを生成し、サービスアカウントがアクセスできるすべての秘密情報とやり取りすることができます。あなたのサービスアカウントに人々を追加するには：

1. サービスアカウントで、**People** タブを選択します。
2. 人々のドロップダウンから、プロジェクトに追加するメンバーやグループをタイプまたは選択してください。適切な人々を選択したら、**追加ボタン**を選択します：



Secrets Manager

My Organization

My Organization

Projects 3

Secrets 5

Machine accounts 2

Integrations

Trash

Settings

< Machine accounts

+ New

BW

+ New access token

My Web Application

Projects 1 People 1 Access tokens 1 Event logs Config

Grant groups or people access to this machine account.

People

Betty Warden x

Add

Type or select people or groups

Name	Permissions
Bob Warden	Can read, write
Brett Warden	Can read, write

Save

サービスアカウントに人々を追加します

サービスアカウントにプロジェクトを追加します

サービスアカウントにプロジェクトを追加すると、アクセストークンを使用して含まれるシークレットにプログラムでアクセスできるようになります。新規プロジェクトと既存のプロジェクトの両方をサービスアカウントに追加することができます。

⇒既存のプロジェクトを追加する

既存のプロジェクトをあなたのサービスアカウントに追加するには：

1. サービスアカウントで、**プロジェクト**タブを選択します。
2. プロジェクトのドロップダウンから、サービスアカウントに追加するプロジェクトをタイプまたは選択してください。適切なプロジェクトを選択したら、**追加**ボタンを選択します：

プロジェクトを追加する

3. サービスアカウントを開き、**プロジェクト**タブで、このサービスアカウントがアクセスできるべきプロジェクトの名前をタイプまたは選択します。追加された各プロジェクトに対して、**権限**のレベルを選択してください。

- **読むことができます:** サービスアカウントは、割り当てられたプロジェクトから秘密を取得することができます。
- **読み取り、書き込み可能:** サービス アカウントは、割り当てられたプロジェクトからシークレットを取得および編集できるだけでなく、割り当てられたプロジェクトに新しいシークレットを作成したり、新しいプロジェクトを作成したりできます。

⇒新しいプロジェクトを追加する

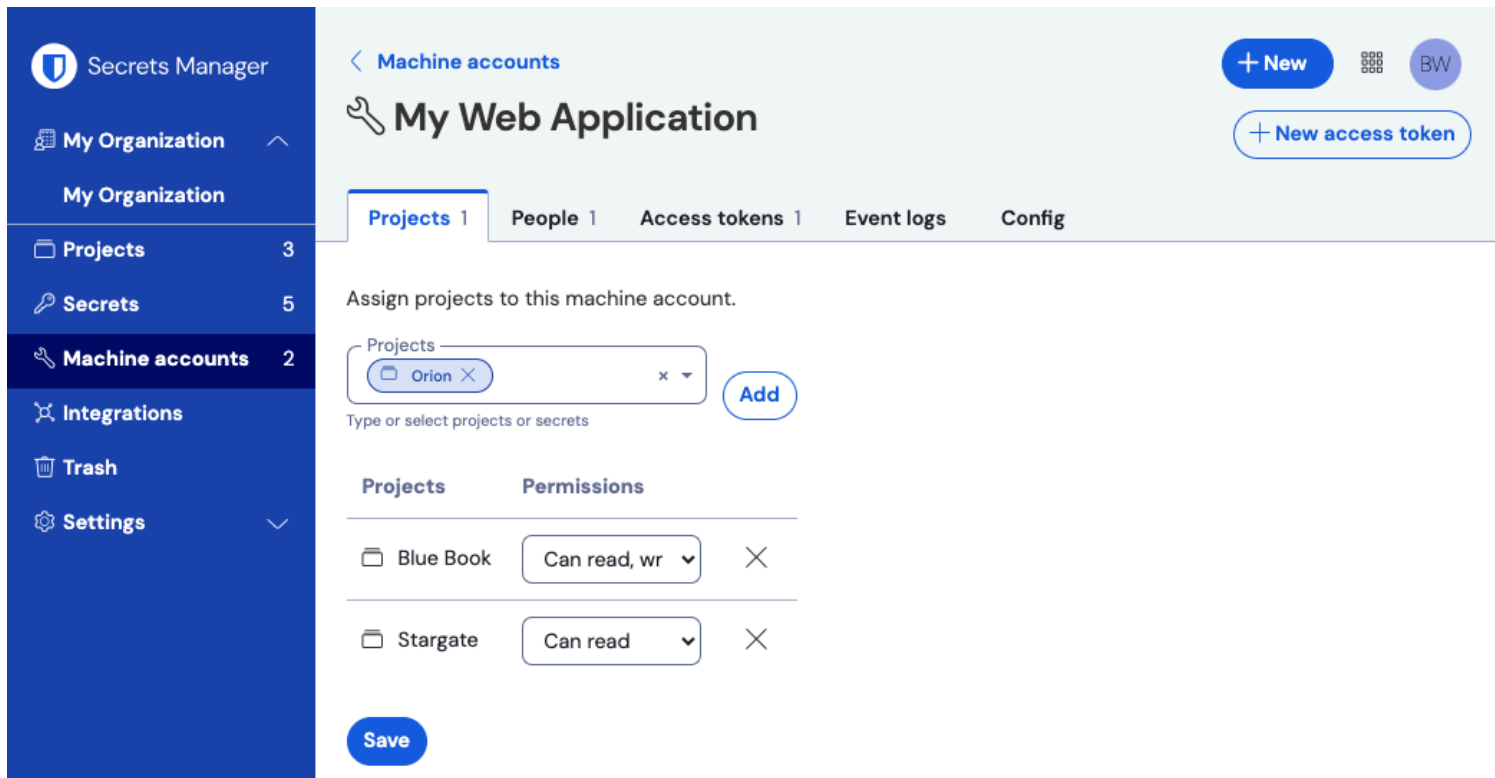
このプロジェクトに新しいサービスアカウントを追加するには：

1. **新規** ドロップダウンを使用して、**サービスアカウント**を選択します：

新しいサービスアカウント

2. サービスアカウント名を入力し、**保存**を選択してください。

3. サービスアカウントを開き、**プロジェクトセクション**で、ドロップダウンを使用してタイプまたは選択して、プロジェクトをサービスアカウントに追加します。適切なプロジェクトを選択したら、**追加**ボタンを選択します:



プロジェクトを追加する

4. サービスアカウントを開き、**プロジェクトタブ**で、このサービスアカウントがアクセスできるべきプロジェクトの名前をタイプまたは選択します。追加された各プロジェクトに対して、**権限:**のレベルを選択してください。

- **読み取り可能:** サービス アカウントは、割り当てられたプロジェクトからシークレットを取得できます。
- **読み取り、書き込み可能:** サービス アカウントは、割り当てられたプロジェクトからシークレットを取得および編集できるだけでなく、割り当てられたプロジェクトに新しいシークレットを作成したり、新しいプロジェクトを作成したりできます。

サービスアカウントを削除します

サービスアカウントを削除するには、削除するサービスアカウントの（：）オプションメニューを使用して、**サービスアカウントを削除**を選択します。サービス アカウントを削除しても、それに関連付けられているシークレットは削除されません。サービスアカウントは削除されると完全に削除され、**シークレットのようにゴミ箱に送られません**。

サービスアカウントイベント

各サービスアカウントで行われたアクションのタイムスタンプ付きレコードは、サービスアカウントの**イベントログ**タブから利用できます。

Secrets Manager

My Organizations

Projects

Secrets

Machine accounts

Trash

Settings

Machine accounts

My Web Application

Projects

People

Access tokens

Event logs

New

OR

+ New access token

Event logs

From

09/23/2023, 12:00 AM

To

10/23/2023, 11:59 PM

Update

Export

Timestamp	Client	Event
Oct 23, 2023, 10:24:26 AM	SDK	Accessed secret e006106e .
Oct 23, 2023, 10:24:10 AM	SDK	Accessed secret e006106e .
Oct 23, 2023, 10:22:54 AM	SDK	Accessed secret a8a286a7 .
Oct 23, 2023, 10:22:54 AM	SDK	Accessed secret f2304edc .
Oct 23, 2023, 10:22:54 AM	SDK	Accessed secret e006106e .

サービスアカウントイベント

特定のサービスアカウントへのアクセス権を持つ任意のユーザーは、そのサービスアカウントのイベントを表示することができます。キャプチャされるイベントには以下のものが含まれます：

- シークレットsecret-identifierにアクセスしました。(**2100**)

Note

各イベントは、イベントがキャプチャしたアクションを識別するタイプコード(**1000**、**1001** など)と関連付けられています。タイプコードは、イベントによって文書化されたアクションを識別するために、[Bitwarden公開API](#)によって使用されます。

イベントログはエクスポート可能で、無期限に保持されます。エクスポートイベントは、指定された日付範囲内のすべてのイベントの **.CSV** を作成します。この範囲は367日を超えてはなりません。